

# 向上心!

## 君が君に問うべき

# 4つの大切なこと

1. 私はしっかりとした目標を持っているだろうか?

目標が毎日の生活の支えとなり努力すべきことを教えてくれます。



2. 私は大切なことを先延ばしにしていないだろうか?

今日できることを明日にしようと思うと明日もやらなくなります。

3. 私はうまくいかないことを人のせいにしていないだろうか?

誰かが悪い誰も何もしてくれないとほやいても何もよくなりません。

4. 私は自分の気持ちをごまかし自分に嘘をついていないだろうか?

自分の気持ちに正直にならなければ大きな希望は抱けません。



塾長からのメッセージ

# 信じて!

## その努力の先にあるものを...

人は、誰でも多くの不安をかかえて日々を生きています。それは子どもも大人も同じことです。子供だけに不安があて、大人には不安はないなんてことはありません。

誰でも明日のことは分かりません。だから、人なら誰でも程度の差はあっても心のどこかに不安をもって生きていかざるをえません。

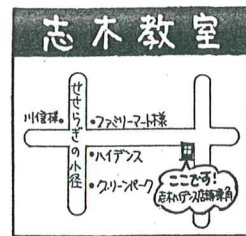
大切なのは、その不安な気持ちに負けずに明日の自分を信じて日々を懸命に生き続けていくことです。

不安な気持ちに負けて君が暗い顔をしていると君の周囲の人よりも不安になります。君が不安な気持ちに負けずに明るく笑顔でいけると周囲の人々も笑顔になります。

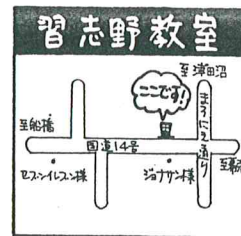
君の明日を信じてください。君の今の努力の先にあるものを信じてください。君の努力は厳しい冬の去った後必ず大きな花を咲かせます。



数検・英検・漢検 実施校!



志木市上宗岡4-6-27-131  
048(472)1618 (昼間受付 月水金PM15:00~)



習志野市谷津2-3-7  
047(452)6461 (昼間受付 月水金PM15:00~)

有限会社GANTS教育研究所

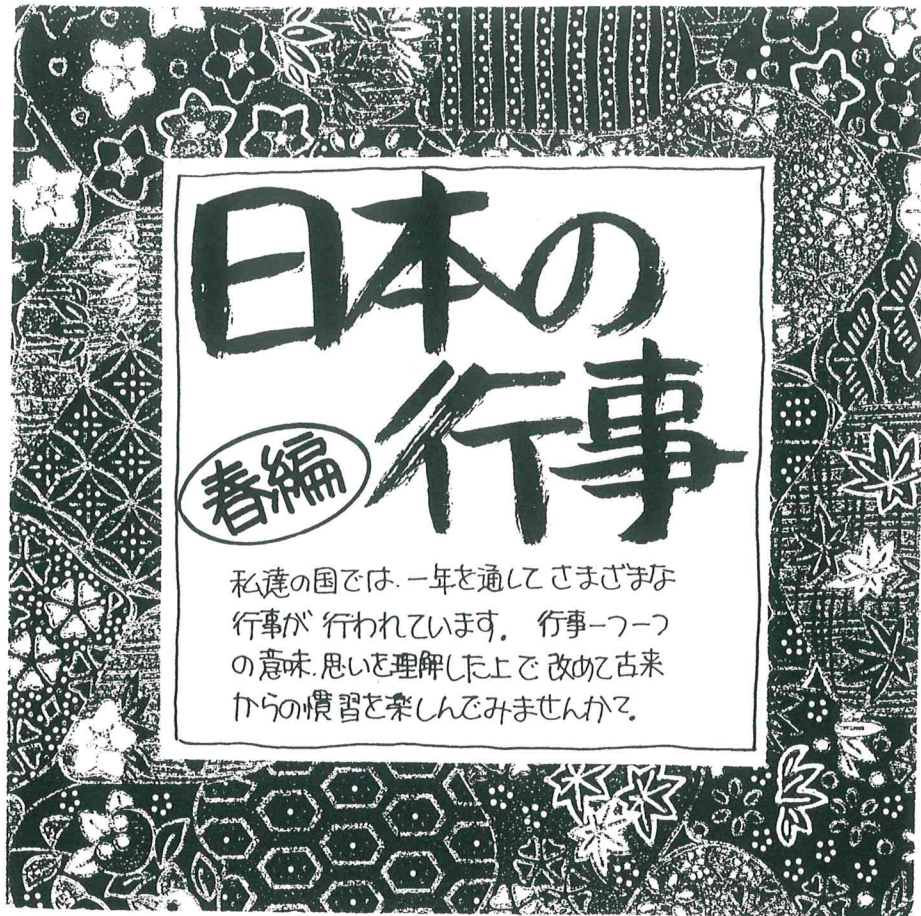
# 藤進ゼミナール

教室不在時はこちらへお問い合わせ下さい!

048(472)7819

※ 当教室のスタッフ全員が今年も君の最強の応援団になります。





# 日本の行事

春編

私達の国では、一年を通してさまざまな行事が行われています。行事一つ一つの意味、思いを理解した上で改めて古来からの慣習を楽しんでみませんか。

## 2/3 節分



鬼は外!  
福は内!

## 各地の変った節分!

名字「鬼」の字がつく家では「鬼は内、福は内」とどちらも内と呼び込む所があるそうです。

鬼は内  
福は内!



奈良県の吉野蔵王堂では全国から迎いだれた鬼を救い仏門へと導くという行事があります。

節分は、もともと1年に4回、立春・立夏・立秋・立冬の前日を目指し季節の移り変わる節目を分ける日という意味を持っています。現在では、立春の前日だけを言っています。この日に一般的には炒った大豆をまいて悪鬼・厄神を追い払い一年間の無病息災を祈ります。また、豆まきの後歳の数だけ豆を食します。

ひいらぎの葉で鬼の目を刺し、いわしの頭の悪臭で鬼を血けなくするという草でこま飾りを作って玄関前に置きます。

京都の八坂神社ではその年の福を持って来る福鬼を迎えるという行事があります。



みなさんの家ではどんな節分を過ごしますか?

## 3/3 桃の節句

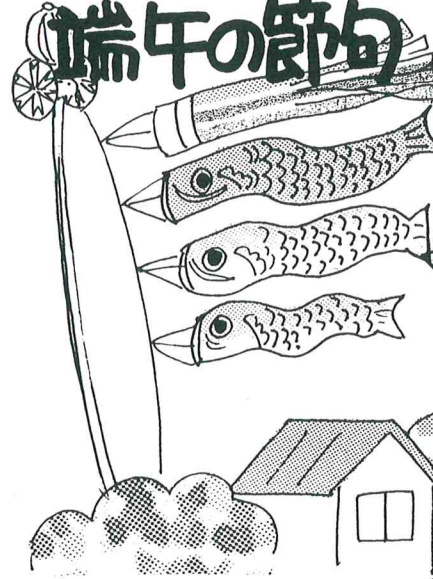


元々は厄を人形に移して払った「流し雛」の風習が発展して人形を飾り、女の子の健やかな成長と幸せを願う祭りとなりました。女の子が生まれ初めての節句に母方の祖父母が「子供の身代りとなり災いを受け止めるように」という思いを込めて雛人形を贈ります。毎年桃の節句にこの人形を飾り健やかな成長を祝い長生きを祈ります。

## ひな人形のお供え物!

- お白酒**  
体から邪気を払うと言われます。  
\*\*\*\*\*
- 草もち**  
よもぎの香りが邪気を払うと言われます。  
\*\*\*\*\*
- ひもち**  
雪の大地の白・木の芽吹き緑・生命の桃の三色で、心臓を形どる餅を食することで自然の恵みを受けると言われます。  
\*\*\*\*\*
- 桃の花**  
桃の花も、白巻草もちと同様魔よけとされています。

## 5/5 端午の節句



もとは月の端の午の日という意味で5月に限ったものではありませんでした。後に午と五の音が同じことから5日を指すようになりやがて5月5日となったようです。身を守る「鏡」を飾り「こいのぼり」を立て男の子の健やかな成長と立身出世を願いお祝いをします。

新しい葉が出るまで古い葉を落とさない事から「家督が途絶えない」縁起物として柏の葉で包んだ餅をお供えし食します。

登竜門という激流(登竜門)を鯉が登ったという中国の伝説から鯉には出世と健やかな成長を願う親の気持ちを託して鯉をのぼりとして空高く立てます。

## こどもの日は?!

古来は端午の節句とされ男の子の成長を祝う日でしたが1948年に国民の祝日法により「子供の日」として親しむようになりました。現在では男女限らずこどもの幸福をはかる日として各地でこどもの日のイベントなどが行われています。